

地域助産学演習

単位数：3単位

○橋本 美幸：臨床看護学講座准教授

1. 科目の教育方針

女性の健康問題や課題を女性外来、文献、データ、対象地域の地区踏査などから明らかにし、問題解決のための課題、施策について提案できる。助産師の専門性を活かした地域活動と多職種との連携・協働の実践を学ぶ。

2. 教育目標

- 1) ライフサイクル各期(思春期・成熟期・更年期・老年期)の女性への健康支援の実践について理解を深め、家庭・職場・地域における女性の健康支援について考える。
- 2) 就労女性に対する母子保健活動の意義と現状を理解し、課題と助産師の役割について考える。
- 3) 地域・医療へき地における周産期医療の実践について学び、助産師の専門性を活かした活動・役割について考える。
- 4) 地域の母児・女性の健康問題・課題を明確化し、その解決に向けた対策を考えることができる。
- 5) 多職種間の連携・協働について学び、これが円滑に行われるための対策について学ぶ。

3. 教育の方法、進め方、評価等

1) 演習時期と方法

時期：2年次前期

内容：特定の地域の母子・女性の健康問題・課題を明確化し、その解決に向けた対策を考え、プレゼンすることを目標とする。

助産学特論、助産管理論などで学修した女性の健康、地域・へき地の周産期医療、母子等の問題・課題から演習対象と関心テーマを決定し、演習計画を立てて演習を行い、評価する。

2) 演習場所と内容

(1) 島根大学医学部附属病院

産後ケア外来、プレコンセプション外来、女性ヘルスケア外来での演習

(2) 隠岐病院島の医療人育成センター 地域連携部

- ・ 学生が主体的に指導者と相談し、実習スケジュールを調整、決定する
- ・ 学内で演習計画を文献やデータ、地区踏査等から対象地域の地区診断を行い、問

題と課題を明らかにする。

- ・この問題と課題を解決するための対策(事業)を考え、プレゼンテーションを行う。

【評価】

演習計画書、報告書、発表を総合的に評価する。

5. 教育内容

回	内 容	講師
1～5	演習オリエンテーション 演習計画の立案、指導	橋本
6～14	女性外来演習	橋本 産婦人科医師、 看護師・助産師
15～44	学生の演習計画に沿って行う	橋本 隠岐人材育成 センター
45	成果発表	橋本 隠岐人材育成 センター